

お知らせ

2022年11月1日(火)

北海道エアポート株式会社

新千歳空港 国際貨物ターミナルSIACTにリーファーコンテナを設置しました

当社は、2022年10月27日、新千歳空港内の国際貨物ターミナルSIACTに冷蔵・冷凍の温度管理が可能なリーファーコンテナを設置し、11月1日より運用を開始致しました。

一般のリーファーコンテナ設置は、フォワーダーからの冷蔵・冷凍設備の拡充要望に加え、今後の国際旅客定期便の運航再開による貨物量の増加を見据えて導入したものです。

これにより、SIACTの冷蔵・冷凍設備は、従来の130㎡から156㎡に拡充され、生鮮食品等の鮮度維持機能の向上のみならず、リーファーコンテナを保管庫として活用することにより、フォワーダーが計画的・安定的に貨物を集荷することが可能となります。

当社では、今後もSIACTの上屋拡張等の施設整備を行うことにより、利用者の利便性向上を図るとともに、北海道における物流の活性化と地域経済の発展に貢献してまいります。

リーファーコンテナの概要

- ・サイズ：40フィート リーファーコンテナ
(外寸：L 12,192mm × W 2,438mm × H 2,896mm、内寸：L 11,500mm × W 2,280mm × H 2,550mm)
- ・特別仕様：スムーズな積卸を可能とするため、①コンテナ側面中央部に扉取付、②庫内に照明設置、③床面にマルチローラーベッド及びローラーコンベア敷設、④移動式コンテナを採用
- ・利用方法：SIACT入居フォワーダーの専用冷蔵庫として、「通年運用」(設定温度：+5℃)
※フォワーダーの要望や貨物動向によって、冷凍温度(-20℃)への切り替えも可能

